



「新緑の余呉 魅力まるかじりツアー」行程

- 余呉駅集合
- ウッドイバル余呉 辻川支配人、前川さんからお話 (森林文化センター) 「ウッドイバル余呉や余呉芸術村についてなどなど」
- ウッドイバル余呉 (工房、アウトドアなど) 施設見学
- 意見交換・交流会
- ウッドイバル余呉にて昼食 (地場野菜の田舎料理バイキング) 及び休憩
- 旧余呉小学校見学 (廃校校舎の活用事例、本造講堂等)
- 残景寺べんがら座 (ギャラリー 意見交換) 見学
- 小劇場弥吉 (古民家再生事例 意見交換) 見学
- 余呉駅にて解散



- ①ウッドイバル余呉研修館 ②教会を思わせる構造が美しい ③レストラン ④山の幸をふるさとの味でリーズナブルにご提供 ⑤清冽な川と深い山。厳かな気分… ⑥洞壽院の御札。ご利益ありそう！ ⑦支配人の辻川氏 ⑧案内人の藤川氏

の再認識、地域との協働・連携、地域と

内をお願いしました。

まずウッドイバル余呉では支配人の辻川作男さんから同施設の現状と芸術村IN余呉について、また将来の事業展開やNPOのあり方についてまで幅広く語っていただきました。地域資産

「余呉」というと皆さん何を連想されますでしょうか？

「余呉湖」「賤ヶ岳」「自然が豊か」

「豪雪」、こんなところが一般的には思い起こされることかと思えます。今回はそんな「余呉」が実は文化の香りあふれる、雅やかな地域であることをお伝えして「環人会ツアーin余呉」の報告とさせていただきます。

ちなみに行政区画としては、平成22年1月1日に東浅井郡虎姫町、湖北町と伊香郡高月町、木之本町、西浅井町とともに旧余呉町は長浜市に編入されました(地名上は例えば「長浜市余呉町中之郷」と表記するなど残っています)。

さて今回の環人会ツアーは余呉の魅力を存分に味わうべく、「余呉の達人」ウッドイバル余呉の前川和彦さんに案内をお願いしました。

環人会ツアーVol.13

新緑の余呉 魅力まるかじりツアー

- ◆日時 / 5月29日(土) 10:30~16:50
- ◆場所 / ウッドイバル余呉 旧余呉小学校 残景寺べんがら座 小劇場弥吉 余呉湖
- ◆集合 / 余呉駅
- ◆参加 / 15名
- ◆報告 / 西村和洋(近江環人3期生)



メンバーで記念撮影



①同壽院近くにある清水。琵琶湖の水はココから生まれる ②べんがら座にて大工でエンターテイナーでデザイナーの僧侶からお話を聞く ③アトリエ ④弥吉のギャラリーで「宮澤賢二の切りえ展」を見る ⑤弥吉の倉では、ミニギャラリーが

共に成長していく施設として今後が非常に楽しみと感じられる内容でした。

次に名刹「洞壽院」をへて旧余呉小学校へ移動です。

現在廃校となり、その呼吸を止めている同校を何とか有効活用できないかということで、昨年にはコンペも行われております。同校は集落の中の小高い場所であり、大変見晴らしもよく、どこかしら仄かな温かみが校舍全体に感じられました。

初めて入ったのにそんな気がしないこの独特の懐かしさ何かに生かしていけないものかと思いました。

さらに「べんがら座」さん、「弥吉」さんを訪問してきました。そこで感じたことは古民家をこういう風に利用していくのもありなんだ、ということ。古民家再生、というと居住を前提と

しがちですが、「地域小劇場」として活用するというのは、その家族だけでなくさらに面的な広がりをもって地域の人々の心を豊かにすることが出来るものなのだと感じました。大きなホールでは敷居が高くて参加できない方でも近所にこういう施設があれば、平日の夜でも家族揃って演奏や演劇を楽しめる（ちよっとヨーロッパみたいな感じで）暮らしができそうで、とても贅沢なことだなあと羨ましくも感じました。

余呉というところ湖北地域の中でも「雪が多い」「高齢者が多い」「交通が不便」など、ついついパターン化された先入観をもたれている事が多いと思います。でもそんな「余呉」も一歩足を踏み入れてみればそこはまさに別天地、ステレオタイプのマイナスイメージは逆転してしまうほど底知れない魅力があることをこの研修会で思い知らされました。

次回 10月23日(土)は「南河内町歩き」集合は近鉄富田林駅 11時30分。問合せは横関万貴子(090011900117540)まで。